



自動車盗が増えています!!
犯罪被害者の方々への支援について
11月29日から12月1日は、犯罪被害者週間です。
県崎橋江先生来県!!
「横浜地区防犯コミュニティ講座」
安全・安心まちづくり勉強会(10月11日~20日)。
たくさんのご参加・ご協力ありがとうございました!
神奈川の交通安全「無事故で年末、笑顔で新年」
/V-COLL等機の増強の増加に成功!
「神奈川県防犯協会副会長、神津厚樹さん(平成21
年度神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進
会員賞 横浜市)」
平成22年度「かながわ安全・安心まちづくり
「横話」コンクール入賞作品が決定
しました!

神奈川県 安全防災局 安全安心部 暮らし安全交通課

電話045(210)1111(内線3520-3552) FAX 045(210)8953

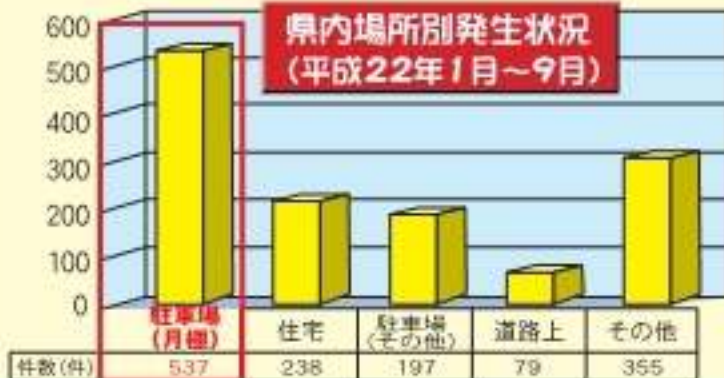
自動車盗が増えています!!

本県では、自動車盗が1月~9月までで、1,406件(対前年比329件増)発生し、被害額は約17億3,900万円となっています。被害にあった車の82.3%は、キーが付いていない状態であったにもかかわらず盗難されており、特にワンボックス車の被害が多くなっています。



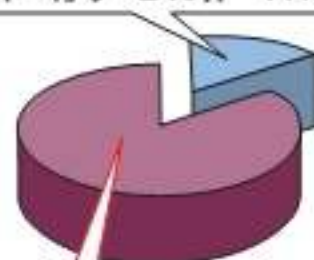
「キーが付いていなくても」 「月極駐車場」等で盗む...

県内場所別発生状況
(平成22年1月~9月)



盗難時のキーの有無
(平成22年1月~9月)

キー有り 248件 17.6%



キー無し
1,158件 82.3%

自動車盗(「車上狙い」を含む)対策 5箇条

- ① 駐車場には照明を付け、夜間も明るくする。
- ② 車内にカバンや貴重品を置いたままにしない。
- ③ ダッシュボードなど、車内にスペアキーを置かない。
- ④ 盗難防止装置(イモビライザ)や警報装置を装着する。
- ⑤ 窓を閉め、エンジンキーを抜き取り、ドアをロックしたことを確認する。
(ほんの2、3分の短い駐車でも、自宅のガレージでも、必ず実行)





犯罪被害者等の方々への支援について

11月25日から12月1日は、犯罪被害者週間です



平成16年12月、犯罪の被害者に遭われた方々の権利や利益の保護を図ることを目的に「犯罪被害者等基本法」が成立しました。国では、この犯罪被害者等基本法が成立した日(12月1日)を最終日とする1週間を「犯罪被害者週間」と位置づけ、様々な啓発事業を行うこととしております。

神奈川県では、平成21年4月に「神奈川県犯罪被害者等支援条例」を施行し、犯罪被害者等の方々への支援を行うとともに、県民の皆さんと一緒に、犯罪被害者等の方々を温かく支える地域社会づくりを進めるために、普及啓発などの取組を行っています。

誰もが犯罪の被害に遭う可能性があります。皆さんも、犯罪被害者等の方々がかかれた状況や、平穏な生活を取り戻すために必要なことについて考えてみませんか。

神奈川県における犯罪被害者週間の主な取組

●「犯罪被害者週間キャンペーン」

日時	11月25日(木) 14時から15時30分
場所	横浜駅東口横浜新都市プラザ(横浜そごう地下2階正面入口)
内容	神奈川県警音楽隊の演奏、キャンペーングッズの配布など



昨年度 キャンペーンの様子

国崎信江 先生来る!! 「横浜地区防犯コミュニティ講座」

県では、子ども防犯対策に関心のある一般県民の方を対象に、「地域で子どもを守るために」のテーマで標記講座を開催します(無料)。

日時	12月7日(火) 14時00分から16時30分
場所	かながわ県民センター 301会議室(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)
内容	講演 講師:危機管理対策アドバイザー 国崎信江氏 太尾地区防犯連絡協議会 植木貞雄会長・佐々木貞貴氏
問合せ	県くらし安全交通課 電話:045(210)3520



国崎信江 先生



出陣式の様子

安全・安心まちづくり旬間(10月11日~20日) たくさんのご参加・ご協力ありがとうございました!

県内一斉防犯パトロール

旬間中に実施された県内一斉防犯パトロールでは、延べ約2万2千人の方にご参加いただきました。

また、10月11日に旬間出陣式を「相模大野駅前ペDESTリアンデッキ」で開催し、古尾谷副知事、渡辺県警察本部長、小星相模原市副市長等が参加しました。

神奈川の交通安全 「無事故で年末、笑顔で新年」



これからの季節は交通事故が多く発生する傾向にあり、特に12月は月別の発生件数が2年連続してワースト1位です。お酒を飲む機会も増えがちですが、飲んだら車や自転車を運転しないことはもちろん、歩いているときも道路を斜めに渡ったりしないように気を付けましょう。

「年末の交通事故防止運動」12月11日~20日

パトロール隊員の爆発的な増加に成功!!

湘南台地区防犯協会副会長

“岩崎 忠雄 さん”

〔「平成21年度神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり奨励賞」受賞者 藤沢市〕

岩崎さんは、平成14年に自治会の防犯部長に就任後、湘南台地区防犯協会の副会長に抜擢され、以来、湘南台地区における防犯活動の中核として、各防犯ボランティアをとりまとめ、自らも防犯パトロール隊「うちゅう家族まもり隊」の実働部隊として防犯活動の最前線で活動されています。

Q1 平成17年に発足したパトロール隊の隊員が、当初60名であったのが、現在580名もの隊員に増加したのは、どうしてですか。

湘南台地区は、現在約10,500世帯、33自治会で構成されています。各自治会の会長や「防犯部長」は1年ほどで交代となりますが、交代しても、そのまま隊員として活動を続けているのです。

そして、各自治会では、「あっちの自治会の隊員数には負けない」といった「競争意識」のようなものが働いているようです。これによって、「湘南台地区のどこかで毎日防犯パトロールが行われている」ことを実現することができました。

Q2 最近の取組みを教えてください。



会議の様子

今年の7月に学校、家庭、地域三者連携組織の呼びかけで「湘南台子ども安全ネットワーク」が組織されました。

これは、学校からの要望によるもので、これまで「学校」「PTA」「警察」「行政」「防犯協会」「自治会等」の横のつながりがなかったため、犯罪等に関する各機関の情報共有と、子ども見守り活動に対してパトロール隊の活動を連携させることを目的として結成されました。

Q3 活動で留意していることを教えてください。

「強いられた活動ではない、住民自らの意思による自発的な地域安全活動を実施していく」ことです。活動を強制すると、反発が生まれる。自然体でやらないと、長続きしません。

また、活動中、無理をして不審者を捕まえようとしないことです。けが人がでるとやはり長続きしない。不審者の特徴を捉えて通報するようにしています。

Q4 その他取り組んでいる活動を教えてください。

地域の危険な場所を地図にした「ひやり地図」を作製し、中心的にパトロールをしています。また、夜間に住家の門灯を点灯する「イルミネーション365」運動を実施しています。

今回の取材で、隊員を増やし、活動を継続させるためには、「無理をしない・させない」活動とすることが大切であると感じました。また、「パトロールを始めてから、今まで気づけなかった地域の場所や、近所の人々に出会うことができたので、楽しみながらやっている」という、岩崎氏を中心とした活動が、広く隊員等に受け入れられているようです。



岩崎忠雄 さん

『うちゅう家族まもり隊』の名の由来となった湘南台市民センター内「地球儀」の前で



パトロール隊員の皆さん



「防犯パトロール特別強化地域」の標識を電柱に設置する様子

平成22年度 かながわ安全・安心まちづくり「標語」「ポスター」コンクール入賞作品が決定しました！

「標語」コンクール最優秀賞



あいさつは、どろぼうたいじのおまじない

大磯町立国府小学校 3年生 二宮 明士 さん

平成22年度 かながわ安全安心まちづくり「標語」「ポスター」コンクール入賞作品が決定しました。これらの作品は、安全安心まちづくりの普及啓発に広く活用していきます。



「標語」コンクール優秀賞

小学生の部	あいさつは ぼくらにできる 防犯活動	相模原市立相武台小学校 5年生 藤原 香 さん
	こんにちは 声かけ台う町 空き巣ゼロ	横浜国立大学教育人間科学部附属横浜小学校 5年生 小宮 七海 さん
中学生の部	夜の道 携帯よりも 周り見て	大和市立沢谷中学校 2年生 保田 拓斗 さん
	あいさつと 笑顔で守る 地域の安全	川崎市立向丘中学校 3年生 桜井 裕也 さん
高校・一般の部	ひだんから 声掛け台って 守るまち	横浜市都筑区 渡邊 昌高 さん
	防犯は 1人1人が 主人公	横浜市旭区 都々木 志子 さん

「ポスター」コンクール入賞作品



小学生低学年の部 最優秀賞
大和市立中央林間小学校3年生 東條 有枝 さん



小学生高学年の部 最優秀賞
平塚市立踏原小学校4年生 須藤 沙香 さん



中学生の部 最優秀賞
横浜市立汲沢中学校3年生 岡本 麻衣 さん



小学生低学年の部 優秀賞
秦野市立南が丘小学校3年生 金丸 龍之介 さん



小学生高学年の部 優秀賞
茅ヶ崎市立浜須賀小学校6年生 殿島 佳奈 さん



中学生の部 優秀賞
湯河原町立湯河原中学校3年生 大塚 蘭 さん